

消防本部票

「救急救命体制の整備・充実に関する調査」及び
「メディカルコントロール体制等の実態に関する調査」

- ※黄色のセルの部分に回答を入力してください。
 ※複数回答の設問は、当てはまるものに「○」で回答してください。
 ※設問には、上から順に回答するようにしてください。
 ※設問中、特に指定がない場合は、原則「令和元年 8 月 1 日時点」の状況をご回答ください。
 ※本調査内での数的調査については、可能な限り記載をお願いいたします。
 統計上、やむを得ず計上が不可能な場合は「99999」と記載してください。
 ※シート名は変更しないでください。

消防本部名	
部署名	
担当者氏名	
電話番号	
E-mail	

消防本部用 アンケート目次

第 1 章 基礎	問 1-12 (P.3-13)
第 2 章 直接	問 1-13 (P.14-25)
第 3 章 再教育	問 1-12 (P.26-53)
第 4 章 事後検証	問 1-8 (P.54-79)

第 1 章 基礎

1 消防本部の体制について	問 1-7 (P.3-6)
2 指導救命士について	問 8 (P.7-9)
3 メディカルコントロールを担う医師について	問 9 (P.10)
4 メディカルコントロール体制の充実強化について	問10-11 (P.11-12)
5 その他	問12 (P.13)

1. 消防本部の体制について

問1 貴消防本部を構成する地方公共団体は回答リストのどれに該当しますか。該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

- 1. 特別区
- 2. 指定都市
- 3. 中核市
- 4. 施行時特例市
- 5. その他の市
- 6. 町村

クリック▼

問2 貴消防本部の担当する地域の医療機関についてお聞きます。
該当する医療機関数をご記入ください。

(半角数字で回答)

三次救急医療機関数	0機関
二次救急医療機関数	0機関

問3 貴消防本部が構成員として参加する会議体等についてお聞きます。
「1」から「10」で該当するものをすべて選んでください。また、参加する会議体ごとの出席者について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

	参加の場合 ：○	消防長	救急部門の 部長、課長	救急部門の係長	指導救命士	救急隊長	その他
	クリック▼	クリック▼	クリック▼	クリック▼	クリック▼	クリック▼	(具体的にご記入ください)
1. 地域メディカルコントロール協議会							
2. 都道府県メディカルコントロール協議会							
3. 消防法35条の8で定める、傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準を策定するための協議会							
4. 周産期救急医療に関する会議体							
5. ドクターヘリ運航に関する会議体							
6. 地域包括ケアに関する会議体							
7. 救急医療に関する会議体							
8. 精神科救急医療に関する会議体							
9. 公衆衛生（感染症含む）に関する会議体							
10. その他（具体的にご記入ください）							

※その他を選んだ方は、会議体名等を具体的にご記入ください

問4 貴消防本部における地域メディカルコントロール協議会及び都道府県メディカルコントロール協議会の予算負担についてお聞きします。該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

1. 地域メディカルコントロール協議会及び都道府県メディカルコントロール協議会の予算を負担している
2. 地域メディカルコントロール協議会の予算を負担している
3. 都道府県メディカルコントロール協議会の予算を負担している
4. 予算の負担はしていない
5. その他

ここをクリックして回答してください▽

※「1」または「2」を選んだ方は、令和元年度の地域メディカルコントロール協議会の予算をご記入ください

※「1」または「3」を選んだ方は、令和元年度の都道府県メディカルコントロール協議会の予算をご記入ください

※「5」を選んだ方は、具体的にご記入ください

地域メディカルコントロール協議会の予算	
費用総額	0円

都道府県メディカルコントロール協議会の予算	
費用総額	0円

具体的にご記入ください	

問5 貴消防本部では、医療機関の医師に事後検証を行った場合、費用は発生していますか。該当するものを1つ選んでください。発生していれば平成30年度の費用総額と事後検証に対する単価が決まっていますらご記入ください。

(回答は1つ)

1. 費用が発生している
2. 費用が発生していない

ここをクリックして回答してください▽

※「1」を選んだ方は平成30年度の費用総額と事後検証に対する単価をご記入ください。

1. の場合、具体的な費用	
費用総額	0円
事後検証単価	0円
<small>(単価ではなく、年間契約の場合、「〇〇円/年」のように記載してください)</small>	
	0円/年

問6 貴消防本部では、医療機関に再教育のため病院実習を行った場合、費用は発生していますか。該当するものを1つ選んでください。発生していれば平成30年度の費用総額と一人あたりの病院実習の費用が決まっていますらご記入ください。

(回答は1つ)

1. 費用が発生している
2. 費用が発生していない

ここをクリックして回答してください▽

※「1」を選んだ方は平成30年度の費用総額と1人あたりの病院実習の費用が決まっていますらご記入ください。

1. の場合、具体的な費用	
費用総額	0円
1人あたりの費用	0円
<small>(1人あたりではなく、年間契約の場合、「〇〇円/年」のように記載ください)</small>	
	0円/年

問7 貴消防本部では、オンラインメディカルコントロールによる指示等を実施した場合、費用は発生していますか。該当するものを1つ選んでください。発生していれば平成30年度の費用総額と1件あたりの費用が決まっていますらご記入ください。

(回答は1つ)

1. 費用が発生している
2. 費用が発生していない

ここをクリックして回答してください▽

※「1」を選んだ方は平成30年度の費用総額と1件あたりの費用が決まっていますらご記入ください。

1. の場合、具体的な費用	
費用総額	0円
1件あたりの費用	0円
<small>(1人あたりではなく、年間契約の場合、「〇〇円/年」のように記載ください)</small>	
	0円/年



2. 指導救命士について

○ 指導救命士の認定拡大については、「指導救命士の認定者数の拡大に向けた取組について」（平成28年3月31日付け消防教第39号）により、都道府県メディカルコントロール協議会と消防本部で取り組むべき方策を具体的に示しているところです。

問8 指導救命士の運用についてお聞きします。
該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

1. 運用している → 副問8-1、副問8-5へ
2. 運用していないが運用する予定がある → 副問8-3へ
3. 運用していない

ここをクリックして回答してください▽

※「3」を選んだ方は、具体的にご記入ください ⇒

3. 運用していないの場合、具体的にご記入ください

副問8-1 問8で「1. 運用している」を選択した方にお聞きします。
指導救命士の運用制度について、該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

1. 任期制（要件を満たし、かつ一定期間を定め、後任と交代する）
2. 資格制（要件を満たせば運用する）
3. その他

ここをクリックして回答してください▽

※「3」を選んだ方は、具体的にご記入ください ⇒

3. その他の場合、具体的にご記入ください

副問8-2 問8で「1. 運用している」を選択した方にお聞きします。
運用を行っている指導救命士の勤務形態について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 交代制勤務者（救急担当）
2. 交代制勤務者（救急担当以外）
3. 毎日勤務者（救急担当）
4. 毎日勤務者（救急担当以外）
5. その他

クリック▽

※「5」を選んだ方は、具体的にご記入ください

副問8-3 問8で「2. 運用していないが運用する予定がある」を選択した方にお聞きします。
運用予定の指導救命士の予定する運用制度について該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

1. 任期制（要件を満たし、かつ一定期間を定め、後任と交代する）
2. 資格制（要件を満たせば運用する）
3. その他
4. 制度については検討していない

ここをクリックして回答してください▽

※「3」を選んだ方は、理由をご記入ください ⇒

3. その他の場合、具体的にご記入ください

副問8-4 問8で「2. 運用していないが運用する予定がある」を選択した方にお聞きします。
運用を予定している指導救命士の勤務形態について該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 交代制勤務者（救急担当）
2. 交代制勤務者（救急担当以外）
3. 毎日勤務者（救急担当）
4. 毎日勤務者（救急担当以外）
5. その他
6. 勤務形態については検討していない

クリック▽

※「5」を選んだ方は、具体的にご記入ください

副問 問8で「1. 運用している」または「2. 運用していないが運用する予定がある」を選択した方にお聞きます。
8-5 指導救命士を養成した又は養成予定の教育機関について該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 消防大学救急科
2. 救急救命九州研修所指導救命士課程
3. 都道府県消防学校
4. 地域メディカルコントロール協議会が定める機関
5. その他

クリック▽

※「5」を選んだ方は、具体的にご記入ください

3. メディカルコントロールを担う医師について

問9 貴消防本部での、メディカルコントロールを担う医師についてお聞きます。
該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 1年間24時間いつでも、誰がオンラインメディカルコントロールを担う医師かを消防本部の救急部門は把握している
2. 誰が事後検証を担う医師かを消防本部の救急部門は把握している
3. 誰が再教育を担う主たる医師かを消防本部の救急部門は把握している
4. その他

クリック▽

※「4」を選んだ方は、具体的にご記入ください

4. メディカルコントロール体制の充実強化について

「メディカルコントロール体制の充実強化について（平成15年3月26日消防救第73号・医政指発第0326002号 消防庁救急救助課長・厚生労働省医政局指導課長）」（以下、本通知）では、
都道府県メディカルコントロール協議会は、地域メディカルコントロール体制間の調整、地域メディカルコントロール協議会からの報告に基づき指導、助言する役割を担うこととされています。

問10 貴消防本部では、都道府県メディカルコントロール協議会が、本通知に示された役割を十分に担えていると考えますか。該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 役割は十分担えている
2. 役割は十分担えているとは言えない →副問10-1へ

ここをクリックして回答してください▽

※「1」を選んだ方は、十分担えている理由をご記入ください ⇒

1. の場合、その理由

※「2」を選んだ方は、十分担えているとはいえない理由をご記入ください ⇒

2. の場合、その理由

副問 10-1 問10で「2. 役割は十分担えているとは言えない」を選択した方にお聞きします。どのようにすれば、都道府県メディカルコントロール協議会は役割を担えるとお考えですか。具体的に記入ください。

(枠内に自由記載)

本通知では、
地域メディカルコントロール協議会は、病院前救護にかかる消防機関と医療機関の連絡調整、業務のプロトコル、マニュアル等の作成、常時指示体制の整備、検証医の選定及び事後検証票の作成等を含めた事後検証体制の確保、救急救命士の資質向上のための研修機会の確保に関する支援を担うこととされています。

問11 貴消防本部では、地域メディカルコントロール協議会が、本通知に示された役割を十分に担えていると考えますか。該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 役割は十分担えている
2. 役割は十分担えているとは言えない →副問11-1へ

ここをクリックして回答してください▽

※「1」を選んだ方は、十分担えている理由をご記入ください ⇒

1. の場合、その理由

※「2」を選んだ方は、十分担えているとはいえない理由をご記入ください ⇒

2. の場合、その理由

副問 11-1 問11で「2. 役割は十分担えているとは言えない」を選択した方にお聞きします。どのようにすれば、地域メディカルコントロール協議会は役割を担えるとお考えですか。具体的に記入ください。

(枠内に自由記載)

5. その他

問12 メディカルコントロール体制のあり方についてお聞きます。ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

(枠内に自由記載)

第2章 直接

1 オンラインメディカルコントロールに関する取組について

問1-13 (P.14-25)

1. オンラインメディカルコントロールに関する取組について

問1 貴消防本部におけるオンラインメディカルコントロール（以下、「オンラインM C」という）体制についてお聞きします。オンラインM Cの対応医療機関（通信指令室を含む）をどこが決定していますか。該当するものを**すべて**選んでください。

（回答はいくつでも）

1. 消防本部
2. 地域メディカルコントロール協議会
3. 都道府県メディカルコントロール協議会
4. その他

クリック▼

※「4」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

問2 貴消防本部におけるオンラインM C体制についてお聞きします。オンラインで指示、指導・助言を行う医師（以下、「オンラインM C医」という）の資格要件を定めていますか。該当するものを**1つ**選んでください。

（回答は1つ）

1. 定めている →副問2-1へ
2. 定めていない

ここをクリックして回答してください▼

※「2」を選んだ方は、その理由をご記入ください



2. 定めていない場合、その理由

--

副問 2-1 問2で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。オンラインM C医の資格要件について、該当するものを**すべて**選んでください。

（回答はいくつでも）

1. 救急科専攻医
2. 救急科専門医
3. 日本救急医学会メディカルコントロールセミナーの受講
4. 厚生労働省病院前救護における指導医等養成研修（初級）
5. 厚生労働省病院前救護における指導医等養成研修（上級）
6. メディカルコントロール協議会が開催する講習会の受講
7. その他

クリック▼

※「7」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 2-2 問2で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。オンラインM C医の資格要件はどこが決定していますか。該当するものを**すべて**選んでください。

（回答はいくつでも）

1. 消防本部
2. 地域メディカルコントロール協議会
3. 都道府県メディカルコントロール協議会
4. その他

クリック▼

※「4」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 2-3 問2で「1. 定めている」を選択した方にお聞きします。オンラインM C医の名簿を整備していますか。該当するものを**1つ**選んでください。

（回答は1つ）

1. 整備している
2. 整備していない

ここをクリックして回答してください▼

※「1」を選んだ方は、具体的な人数をご記入ください。



1. 整備している場合、その人数

--

0人

問3 貴消防本部のオンラインM C 医との関係についてお聞きます。
該当するものを**すべて**選んでください。

(回答はいくつでも)

1. メディカルコントロール協議会の委員である医師が所属する医療機関の医師
2. メディカルコントロール協議会から認定や指名を受けた医師
3. メディカルコントロール協議会と関係はない医師 (消防本部が決めている)
4. その他

クリック▼

※「4」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

問4 貴消防本部におけるオンラインM C 体制についてお聞きます。
オンラインM C 医と連絡するには救急隊はどこに連絡しますか。該当するものを**すべて**選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 通信指令室
2. メディカルコントロール協議会で定められた管轄内の医療機関
3. メディカルコントロール協議会で定められた管轄外の医療機関
4. 搬送先医療機関 →副問4-1へ
5. その他

クリック▼

※「5」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問4-1 問4で「4. 搬送先医療機関」を選択した方にお聞きます。
貴消防本部におけるオンラインM C 体制についてお聞きます。搬送先医療機関の医師がオンラインM C 医となっている理由を教えてください。

(枠内に自由記載)

--

問5 貴消防本部におけるオンラインM C 体制についてお聞きます。
問4での回答の優先順位について、該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 優先順位は定められていない
2. 通信指令室を最優先
3. 搬送先医療機関を最優先
4. 搬送先以外のメディカルコントロール協議会で定められた医療機関
5. 1か所でのみオンラインM C を行う
6. その他

ここをクリックして回答してください▼

※「6」を選んだ方は、具体的にご記入ください



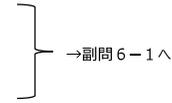
6. その他の場合、具体的に

--

問6 貴消防本部におけるオンラインM C 体制についてお聞きます。オンラインM C の連絡先 (通信指令室を含む) は全部でいくつありますか (医療機関ごとに1つと数える)。
該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 1か所
2. 2か所
3. 3か所
4. 4か所
5. 5か所
6. 6か所以上



ここをクリックして回答してください▼

※「6」を選んだ方は、具体的にご記入ください



6. 6か所以上の場合、具体的な数

0か所

副問6-1 問6で「2～6」を選択した方にお聞きます。
貴消防本部におけるオンラインM C 体制についてお聞きます。複数の医療機関の医師がオンラインM C 先となっている理由を教えてください。

(枠内に自由記載)

--

問7 オンラインM C を常時受ける体制についてお聞きます。
オンラインM C に対応する医療機関 (通信指令室を含む) の対応時間で該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 対象となるすべての医療機関 (通信指令室を含む) が24時間常に対応できる
2. 一部の医療機関 (通信指令室を含む) は24時間対応ではないが、全体として24時間対応できる体制が整備されている
3. いずれの医療機関 (通信指令室を含む) も対応できない時間帯がある。

ここをクリックして回答してください▼

問8 オンラインM Cを常時受ける体制についてお聞きします。
 オンラインM C医が通信指令室にいる場合、医師は常時対応できますか。該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

- 1. 通信指令室は指示を求める先となっていない
- 2. 必ず対応できる
- 3. 一部、対応できない時間帯がある

ここをクリックして回答してください▽

問9 オンラインM Cを常時受ける体制についてお聞きします。
 オンラインM C医が医療機関にいる場合、医師は常時対応できますか。該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

- 1. 医療機関は指示を求める先となっていない
- 2. 必ず対応できる
- 3. 一部、対応できない時間帯がある

ここをクリックして回答してください▽

問10 オンラインM Cを常時受ける体制についてお聞きします。
 管轄外へ搬送した場合の特定行為の指示要請先として、該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

- 1. 搬送する管轄外の医療機関の医師に指示要請を行う →副問10-1へ
- 2. 管轄外への搬送の場合は、管轄内の特定の医療機関（通信指令室を含む）の医師に指示要請を行う
- 3. 管轄外への搬送の場合は、管轄内の任意の医療機関（通信指令室を含む）の医師に指示要請を行う
- 4. その他

※「任意」とは、メディカルコントロール協議会や消防本部で定められているオンラインM Cの連絡先以外を指します。

ここをクリックして回答してください▽

※「4」を選んだ方は、具体的にご記入ください ⇒

4. その他の場合、具体的に

副問 10-1 問10で「1. 搬送する管外の医療機関の医師に指示要請を行う」を選択した方にお聞きします。
 管轄外の搬送先医療機関医師に指示要請を行った場合、特定行為指示、指導、助言を受けられますか。該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

- 1. 特定行為指示、指導、助言全て受けられる
- 2. 特定行為指示のみ受けられる
- 3. その他

ここをクリックして回答してください▽

※「3」を選んだ方は、具体的にご記入ください ⇒

3. その他の場合、具体的に

問11 オンラインM Cを迅速に受ける体制についてお聞きします。
 オンラインM C時の通信先機器で該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

- 1. 医療機関の一般回線電話
- 2. 医療機関の専用回線電話（医師に直接つながる）
- 3. 医療機関の専用回線電話（医師以外につながる）
- 4. 通信指令室の通信機器
- 5. その他

クリック▽

※「5」を選んだ方は、具体的にご記入ください

3. その他の場合、具体的に

問12

オンラインM Cを迅速に受ける体制についてお聞きします。
オンラインM C実施時の最初の電話受信者について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

- 1. 医師
- 2. 医療機関の医師以外の医療職
- 3. 医療機関の医療職以外の職員
- 4. 指令センターの通信指令員
- 5. その他

→副問12-1へ

クリック▼

※「5」を選んだ方は、具体的にご記入ください

副問12-1

問12で「2～5」を選択した方にお聞きします。
オンラインM Cを迅速に受ける体制についてお聞きします。オンラインM C実施時に最初に医師以外が受信者となる場合、その後の対応について該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

- 1. 最初の受信者から応答先が医師にかわり、医師から直接指示等を受ける
- 2. 最初の受信者が医師に要件を伝え、最初の受信者経由で医師からの指示等を受ける
- 3. その他

クリック▼

※「3」を選んだ方は、具体的な理由をご記入ください

副問12-2

問12で「2～5」を選択した方にお聞きします。
オンラインM Cを迅速に受ける体制についてお聞きします。オンラインM C実施時に最初に医師以外が受信者となる場合、受信開始から医師が応答するまでの時間でオンラインM C実施者が感じる平均的な時間について、該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

- 1. 全事案、直ちに医師が応答する
- 2. 直ちにはいかない事案がある

ここをクリックして回答してください▼

2. 直ちにはいかない事案がある場合、おおよその時間

※「2」を選んだ方は、おおよその時間をご記入ください

0分

問13

オンラインM Cを適切に受ける体制についての質問です。
オンラインM Cを行う医師のプロトコルの理解について、該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

- 1. すべての医師が理解していると感じる
- 2. すべての医師とは言いえない
- 3. その他

ここをクリックして回答してください▼

※「2」を選んだ方は、おおよそ理解している医師の割合をご記入ください

2. の場合、おおよそ理解している医師の割合

0%

※「3」を選んだ方は、具体的にご記入ください

3. の場合、具体的に

問14

オンラインM Cを適切に受ける体制についてお聞きします。
オンラインM C実施時の医師からの指示等について該当するものを1つ選んでください。
プロトコルを理解していない指示等がある場合は、具体的な事案をご記入ください。

(回答は1つ)

- 1. 救急救命士法、関係法令、プロトコルを理解した指示等を受ける
- 2. 極まれに、救急救命士法、関係法令、プロトコルを理解していない指示等がある
- 3. まれに、救急救命士法、関係法令、プロトコルを理解していない指示等がある
- 4. 時折、救急救命士法、関係法令、プロトコルを理解していない指示等がある
- 5. 救急救命士法、関係法令、プロトコルを理解しておらず活動に苦慮している

→副問14-1へ

ここをクリックして回答してください▼

※「2～5」を選んだ方は、具体的な事案をご記入ください

2～5の場合、具体的な事案

副問14-1

問14で「2～5」を選択した方にお聞きします。
オンラインM Cを適切に受ける体制についてお聞きします。副問14で選んだ指示等があった場合の対応について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

- 1. その場でオンラインM C先医師に救急救命士法、関係法令、プロトコルの理解を求める
- 2. 事案終了後、消防本部に報告する
- 3. 事案終了後、地域メディカルコントロール協議会へ報告する
- 4. 事後検証事案としている
- 5. 対応しない

クリック▼

※「5」を選んだ方は、具体的な理由をご記入ください

問15

オンラインM Cを適切に受ける体制についてお聞きします。
オンラインM Cの protocols はどこが策定・改正していますか。該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

1. 消防本部単独
2. 地域メディカルコントロール協議会単独
3. 消防本部と地域メディカルコントロール協議会の合同
4. 消防本部と都道府県メディカルコントロール協議会の合同
5. その他

ここをクリックして回答してください▽

※「5」を選んだ方は、具体的にご記入ください ⇒

5. の場合、具体的に

問16

貴消防本部における protocols についてお聞きします。
どのような protocols を策定していますか。該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. CPA
2. 外傷
3. 内因性疾患
4. その他

クリック▽

※「3」を選んだ方は、protocols を策定している症候を記載してください。 ⇒

3. の場合、protocols を策定している症候

※「4」を選んだ方は、具体的にご記入ください ⇒

4. の場合、具体的に

問17

オンラインM Cを適切に受ける体制についてお聞きします。
オンラインM C 医への protocols の周知について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 定期的に一直接一
2. 定期的に一地域メディカルコントロール協議会を通じて一
3. protocols 改正時に一直接一
4. protocols 改正時に一地域メディカルコントロール協議会を通じて一
5. オンラインM C 医に protocols の周知説明は行っていない
6. その他

クリック▽

※「6」を選んだ方は、具体的にご記入ください

問18

オンラインM Cを適切に受ける体制についてお聞きします。
オンラインM C の伝達について該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

1. 双方（救急隊側と医師側）の伝達について事後検証の対象としている
2. 救急隊側の伝達について事後検証の対象としている
3. 伝達については事後検証の対象外である

ここをクリックして回答してください▽

問19

オンラインM Cを迅速に受ける体制についてお聞きします。
オンラインM C の伝達能力の向上方法について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. オンラインM C 医とのオンラインでのやり取りを録音し、それを元に能力向上をはかっている
2. 事後検証を行い、能力向上をはかっている
3. オン・ザ・ジョブトレーニングで能力向上をはかっている
4. 特段、能力向上については取り組んでおらず、個々の裁量に任せている

クリック▽

第3章 再教育

1 再教育の実施について

問 1-12 (P.26-51)

問20 オンラインMCで、どのような場合に特定行為の指示要請以外に指導・助言を求めますか。
該当するものを**すべて**選んでください。また、選んだものの具体例をご記入ください。

(回答はいくつでも)

	クリック▼	⇒	○の場合：具体例
1. 明らかな死の判断に関する事		⇒	
2. 薬物摂取による事案の薬物の薬効、副反応		⇒	
3. プロトコルに記載されていない事項		⇒	
4. プロトコルから逸脱することの是非		⇒	
5. 身体合併症を伴う精神疾患傷病者の搬送先		⇒	
6. 搬送先医療機関		⇒	
7. 搬送先選定科目		⇒	
8. 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施に関する事案		⇒	
9. 周産期（出産）に関する事		⇒	
10. その他		⇒	

問21 貴消防本部でのオンラインMC体制についてお聞きます。
該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 現体制について満足している
2. 一部改善点がある
3. 大いに改善が必要だ
4. その他

ここをクリックして回答してください▼

※「2」または「3」を選んだ方は、必要な改善点についてご記入ください

⇒

2. または 3. の場合、必要な改善点

※「4」を選んだ方は、具体的にご記入ください

⇒

4. の場合、具体的に

1. 再教育の実施について

問1 消防本部の、救急救命士の配属場所についてお聞きします。該当するものをすべて選んでください。
なお、配属場所はすべて専任場所とします。

(回答はいくつでも)

1. 管理職（課長職以上）
2. 救急隊（交代勤務又は毎日勤務）※
3. 消防隊（救助隊、指揮隊を除く）※
4. 救助隊※
5. 指揮隊※
6. 通信指令室※
7. 毎日勤務（救急業務の企画立案）※
8. 毎日勤務（救急業務の企画立案以外）※
9. その他※

※：管理職（課長職以上）を除くものとします。

クリック▼

※「9」を選んだ方は、具体的に記入ください

問2 貴消防本部内での救急救命士の再教育についてお聞きします。
該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

1. 消防本部内で再教育について何らかの定めがある
2. 消防本部、地域又は都道府県のメディカルコントロール協議会の双方で再教育について定めている
3. 消防本部内で再教育について定め、そのことについて地域又は都道府県のメディカルコントロール協議会に承認を得ている
4. 消防本部内で再教育についての定めはない
(地域又は都道府県のメディカルコントロール協議会が定めている)
5. 消防本部内で再教育についての定めはない
(地域又は都道府県のメディカルコントロール協議会も定めていない)

ここをクリックして回答してください▼

問3 救急救命士の資格を有する職員の再教育について時間や単位を管理する対象についてお聞きします。
該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 管理職※1
2. 交代制勤務者のうち専任救急隊員※4
3. 交代制勤務者のうち兼任救急隊員※4
4. 通信指令員
5. 交代制勤務者のうち救急、通信指令業務に携わらない職員※4
6. 毎日勤務者のうち専任救急隊員※2、4
7. 毎日勤務者のうち兼任救急隊員※2、4
8. 毎日勤務者のうち救急業務に携わる職員※3、4
9. 毎日勤務者のうち救急、通信指令業務に携わらないを除く職員※4
10. その他
11. 再教育について時間や単位を管理する体制が整っていない

※1：管理職とは課長職以上を指します。

※2：毎日勤務者のうち救急隊員である職員とは平時から救急隊員として勤務する職員を指します

※3：毎日勤務者のうち救急業務に携わる職員とは本部、署等において平時に救急隊員ではなく救急業務について企画立案等をなす職員を指します

※4：交代制勤務者及び毎日勤務者からは管理職を除くものとします

※「10」を選んだ方は、具体的に記入ください

クリック▼

→副問3-2へ

→副問3-1、問7へ

10. その他の場合、具体的に

副問
3-1

問3で「11. 再教育について時間や単位を管理する体制が整っていない」を選択した方にお聞きします。
再教育について時間や単位を管理する体制が整っていない理由を具体的に記入ください。
あわせて、今後どのような条件がそろえば再教育について時間や単位を管理する体制を整えられるかご記入ください。

(枠内に自由記載)

--

→回答後、問7へ

副問 3-2 問3で「1～10」のいずれかを選択した方にお聞きます。
 時間や単位を管理する対象者の再教育の実施体制について、該当するものを1つ選んでください。
 (対象者個人の特段の事情により計画どおりの再教育時間とならなかった場合であっても、計画段階で行えるのであれば行える体制としてください。)

(回答は1つ)

1. 2年間で128時間以上の再教育時間を対象者全員に行える体制である
2. 2年間で128時間以上の再教育時間を対象者全員に行える体制ではない

ここをクリックして回答してください▽

問4 時間や単位を管理する対象者の再教育についてお聞きます。
 病院実習にふさわしいと考える医療機関とはどのような医療機関ですか。該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 管轄内の救急医療の中核をなす医療機関
2. メディカルコントロールを担当する医師の所属する医療機関
3. 管轄内の三次医療機関
4. 管轄外の三次医療機関
(自地域に三次医療機関はない)
5. メディカルコントロール協議会の定める医療機関
6. 主たる搬送先医療機関
7. その他

クリック▽

※「7」を選んだ方は、具体的にご記入ください

問5 時間や単位を管理する対象者の病院実習体制についてお聞きます。該当するものを1つ選んでください。
 (時間や単位を管理するにあたって作成する再教育計画での病院実習時間でお答えください。また、対象者個人の特段の事情により計画どおりの再教育時間とならなかった場合であっても、計画段階で行えるのであれば行える体制としてください。)

(回答は1つ)

1. 再教育128時間のうち、病院実習48時間程度が行える体制である →副問5-5へ
2. 再教育128時間のうち、病院実習は行っているが48時間程度が行えない体制である →副問5-1、5-5へ
3. 再教育128時間以上のうち、病院実習は全く実施していない →副問5-1へ

ここをクリックして回答してください▽

副問 5-1 問5で「2、3」のいずれかを選択した方にお聞きます。
 病院実習48時間程度の再教育が行える体制となっていない理由について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 救急救命士の再教育を行える医療機関がない
2. 医療機関の協力が得られない
3. 医療機関の受入れ可能者数より多くの再教育対象者がいる
4. 救急業務以外も兼務しており、業務に支障がでる
5. 病院実習に職員を派遣することで現場での救急救命士の運用に支障をきたす
6. 十分な予算がない
7. その他

クリック▽

→副問5-2へ

→副問5-3へ

→副問5-4へ

※「7」を選んだ方は、具体的にご記入ください

副問 5-2 副問5-1で「1. 救急救命士の再教育を行える医療機関がない」を選択した方にお聞きます。
 どのような医療機関があれば、救急救命士の再教育を行えるとお考えですか。該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 管轄内に救急医療の中核をなす医療機関を置く
2. 管轄内にメディカルコントロールを担当する医師の所属する医療機関を置く
3. 管轄内に三次医療機関を置く
4. 管轄外でもよいので三次医療機関や救急医療の中核をなす医療機関を置く
5. メディカルコントロール協議会が医療機関を定める
6. 主たる搬送先医療機関に協力してもらう
7. その他

クリック▽

※「7」を選んだ方は、具体的にご記入ください

副問
5-3

副問5-1で「2、3」のいずれかを選択した方にお聞きします。
医療機関の協力が得られない又は医療機関の受入れ可能者数より多くの再教育対象者がいることについてどのような対策を行っていますか。該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 対策は行っていない。
2. 都道府県メディカルコントロール協議会に対して調整を依頼している
3. 地域メディカルコントロール協議会に対して調整を依頼している
4. 管轄内の医療機関に対して継続して実習を依頼している
5. 管轄外の医療機関に対して実習を依頼している
6. 他消防本部に病院実習の協力を依頼している
7. その他

クリック▼

※「7」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問
5-4

副問5-1で「4～7」のいずれかを選択した方にお聞きします。
貴消防本部で消防業務、救急救命士の運用に支障がでることや十分な予算が取れないことに対して対策を行っていますか。該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

1. 対策を行っている
2. 対策を行っていない

ここをクリックして回答してください▼

※「1」を選んだ方は、具体的な内容をご記入ください



1. の場合、具体的に

--

2. の場合、その理由

--

※「2」を選んだ方は、対策を行っていない理由をご記入ください



副問
5-5

問5で「1、2」のいずれかを選択した方にお聞きします。
救急救命士の再教育のための病院実習内容として必要であるが実施できていないと考えるものについてお聞きします。
該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 各種病態理解のための内容
2. 医療機関内の他職種連携に資する内容
3. 特定行為の能力向上に資する内容
4. バイタルサイン測定など応急処置の能力向上に資する内容
5. ナーシングケア
6. 特になし
7. その他

クリック▼

※「7」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問
5-6

問5で「1、2」のいずれかを選択した方にお聞きします。
再教育の病院実習方式についてお聞きします。該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 常設型ワークステーション方式（自消防本部が運営）
2. 派遣型ワークステーション方式（自消防本部が運営）
3. 医療機関に職員を派遣する方式（自消防本部の管内）
4. 常設型ワークステーション方式（他消防本部が運営）
5. 派遣型ワークステーション方式（他消防本部が運営）
6. 医療機関に職員を派遣する方式（自消防本部の管外）
7. その他

クリック▼

※「7」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 5-7 問5で「1、2」のいずれかを選択した方にお聞きします。
 貴消防本部で再教育病院実習を行う医療機関の数をご記入ください。

(半角数字で回答)

医療機関の数 機関

副問 5-8 問5で「1、2」のいずれかを選択した方にお聞きします。
 病院実習の実習内容について、該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

- 1. カリキュラムを定めず、その都度内容を考える →副問 5-9へ
- 2. 画一的なカリキュラムを定め、それに従う
- 3. 選択制のカリキュラムを定め、それに従う。(一部選択制も含む) →副問 5-10へ

副問 5-9 副問5-8で「1. カリキュラムを定めず、その都度内容を考える」を選択した方にお聞きします。
 カリキュラムを定めていない理由は何ですか。具体的にご記入ください。

(枠内に自由記載)

副問 5-10 問5-8で「2、3」のいずれかを選択した方にお聞きします。
 カリキュラムについてお聞きします。該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

- 1. 実習先医療機関から提示されたものである
- 2. 消防側から提案したものである
- 3. 消防側、実習先医療機関が定期的に協議し決定したものである
- 4. 地域メディカルコントロール協議会の定めたものである
- 5. 都道府県メディカルコントロール協議会の定めたものである
- 6. その他

クリック▼

※「6」を選んだ方は、具体的にご記入ください

副問 5-11 副問5-8で「2、3」のいずれかを選択した方にお聞きします。
 救急救命士の病院実習での再教育カリキュラムの内容について、最も時間を費やされている内容をすべて選んでください。

(同等なものがあれば複数回答可)

- 1. 各種病態理解のための内容
- 2. 医療機関内の他職種連携に資する内容
- 3. 特定行為の能力向上に資する内容
- 4. バイタルサイン測定など応急処置の能力向上に資する内容
- 5. ナーシングケア
- 6. 病院前医療システム (D rカー、D rヘリ) への同乗
- 7. その他

クリック▼

※「7」を選んだ方は、具体的にご記入ください

副問 5-12 副問5-8で「2、3」のいずれかを選択した方にお聞きします。
 病院実習のカリキュラムを定めていることについてお聞きします。
 カリキュラムは実際の病院実習で正しく行われていますか。該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

- 1. 実習者から評価表を使用するなど客観的にカリキュラムが正しく行われていたか確認を行う
- 2. 実習者からカリキュラムが正しく行われていたか口頭で報告するよう指導している
- 3. 確認をしていない
- 4. その他

※「4」を選んだ方は、具体的な内容をご記入ください

4. の場合、具体的に

副問 5-13 副問5-8で「2、3」のいずれかを選択した方にお聞きします。
 病院実習のカリキュラム見直しについて、該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

- 1. 随時見直している
- 2. 定期的に見直している →副問 5-14へ
- 3. 不定期に見直している
- 4. 見直しは行っていない →副問 5-16へ

副問 5-14 副問5-13で「1～3」のいずれかを選択した方にお聞きます。
 病院実習のカリキュラム見直しの根拠について、該当するものを**すべて**選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 病院実習結果（検証・評価・レポート等）に基づき行う
2. ガイドライン改定など基準の変更に基づき行う
3. 地域メディカルコントロール協議会の指示により行う
4. 実習先医療機関からの要請に基づき行う
5. その他

クリック▼

※「5」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 5-15 副問5-13で「1～3」のいずれかを選択した方にお聞きます。
 病院実習での再教育項目内容の見直しはどが行いますか。該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 消防本部
2. 消防本部と実習先医療機関と協議し、実習内容の見直しを行う
3. 実習先医療機関
4. その他

ここをクリックして回答してください▼

4. その他の場合、具体的に

--

※「4」を選んだ方は、具体的にご記入ください ⇒

副問 5-16 副問5-13で「4. 見直しは行っていない」を選択した方にお聞きます。
 病院実習のカリキュラム見直しを行っていない理由は何ですか。具体的にご記入ください。

(枠内に自由記載)

--

副問 5-17 問5で「1、2」のいずれかを選択した方にお聞きます。
 病院実習での実習時の調整役について、該当するものを**すべて**選んでください。
 (実習施設が複数ある場合は最も派遣者が多い施設での回答をしてください)

(回答はいくつでも)

1. 指導救命士を配置している
2. 指導救命士以外の職員を配置している
3. 医療機関の職員が担う
4. 配置していない（実習者が行う）
5. その他

クリック▼

※「5」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

問 6 時間や単位を管理する対象者の日常的な教育体制での教育時間について、該当するものを**1つ**選んでください。
 (時間や単位を管理するにあたって作成する再教育計画での日常的な教育体制での教育時間でお答えください。また、対象者個人の特段の事情により計画どおりの再教育時間とならなかった場合であっても、計画段階で行えるのであれば行える体制としてください。)

(回答は1つ)

1. 日常的な教育体制での教育を行っており、病院実習時間とあわせ128時間以上の再教育が行える体制である →副問6-1、6-2、6-6、6-7、6-14へ
2. 日常的な教育体制での教育を行っているが、病院実習とあわせ128時間の再教育は行えない体制である →副問6-1、6-2、6-6、6-7、6-11、6-14へ
3. 日常的な教育体制での教育は全く行っておらず、再教育128時間が行えない体制である →副問6-11、6-13、6-14へ
4. 再教育128時間のうち、すべてを病院実習としているため日常的な教育体制での教育は全く行っていない →副問6-13、6-14へ

ここをクリックして回答してください▼

副問 6-1 問6で「1、2」のいずれかを選択した方にお聞きします。
 日常的な教育体制での再教育項目について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 症例検討会
2. 実践技能教育コース
(標準化されたガイドラインを用いたシミュレーション学習)
3. 医学会、全国救急隊員シンポジウム等での発表・参加
4. 事後検証会
5. 集中講義 (病態把握や応急処置能力向上等)
6. シナリオトレーニング
7. 各種研修会への参加
8. 救急出場時での実践的なトレーニング (同乗実習等)
9. その他

クリック▼

※「9」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 6-2 問6で「1、2」のいずれかを選択した方にお聞きします。
 日常的な教育体制での指導者について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 医師
2. 指導救命士
3. 救急救命士 (指導救命士以外)
4. 医師、救急救命士以外の医療従事者
5. 消防職員の管理職
6. その他

クリック▼

→副問 6-3へ

→副問 6-4へ

→副問 6-5へ

※「6」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 6-3 副問6-2で「1. 医師」を選択した方にお聞きします。
 日常的な教育体制での指導について、医師が行うもの又は参画するものはどれですか。該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 症例検討会
2. 実践技能教育コース
(標準化されたガイドラインを用いたシミュレーション学習)
3. 医学会、全国救急隊員シンポジウム等での発表・参加
4. 事後検証会
5. 集中講義 (病態把握や応急処置能力向上等)
6. シナリオトレーニング
7. 各種研修会への参加
8. 救急出場時での実践的なトレーニング (同乗実習等)
9. その他

クリック▼

※「9」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 6-4 **副問 6-2で「2. 指導救命士」を選択した方にお聞きます。**
日常的な教育体制での指導について、指導救命士が行うものはどれですか。該当するものを**すべて**選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 症例検討会
2. 実践技能教育コース
(標準化されたガイドラインを用いたシミュレーション学習)
3. 医学会、全国救急隊員シンポジウム等での発表・参加
4. 事後検証会
5. 集中講義 (病態把握や応急処置能力向上等)
6. シナリオトレーニング
7. 各種研修会への参加
8. 救急出場時での実践的なトレーニング (同乗実習等)
9. その他

クリックマ
<input type="checkbox"/>

※「9」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 6-5 **副問 6-2で「3、4、5、6」のいずれかを選択した方にお聞きます。**
日常的な教育体制での指導について、医師、指導救命士以外の者が行うものはどれですか。該当するものを**すべて**選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 症例検討会
2. 実践技能教育コース
(標準化されたガイドラインを用いたシミュレーション学習)
3. 医学会、全国救急隊員シンポジウム等での発表・参加
4. 事後検証会
5. 集中講義 (病態把握や応急処置能力向上等)
6. シナリオトレーニング
7. 各種研修会への参加
8. 救急出場時での実践的なトレーニング (同乗実習等)
9. その他

クリックマ
<input type="checkbox"/>

※「9」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 6-6 **問 6で「1、2」のいずれかを選択した方にお聞きます。**
日常的な教育体制での再教育項目についてお聞きます。
再教育項目の内容を教育実施後に評価していますか。該当するものを**すべて**選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 評価表を使用し指導者及び再教育受講者から内容について評価を受ける
2. 指導者及び再教育受講者から口頭で内容の評価を受ける
3. 再教育実施後にその項目の実施内容を地域メディカルコントロール協議会に報告し評価を受ける
4. 評価は行っていない
5. その他

クリックマ
<input type="checkbox"/>

※「5」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 6-7 問6で「1、2」のいずれかを選択した方にお聞きます。
日常的な教育体制での再教育項目内容の見直しについてお聞きます。該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

- 1. 随時見直しをしている
 - 2. 定期的に見直ししている
 - 3. 不定期に見直ししている
 - 4. 見直しは行っていない
- 副問 6-8へ
→副問 6-10へ

ここをクリックして回答してください▽

副問 6-8 副問6-7で「1~3」のいずれかを選択した方にお聞きます。
日常的な教育体制での再教育項目内容の見直しの根拠についてお伺いします。
該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

- 1. 評価結果（検証・評価・レポート等）に基づき行う
- 2. ガイドライン改定など基準の変更に基づき行う
- 3. 地域メディカルコントロール協議会の指示により行う
- 4. その他

クリック▽

※「4」を選んだ方は、具体的にご記入ください

副問 6-9 副問6-7で「1~3」のいずれかを選択した方にお聞きます。
日常的な教育体制での再教育項目内容の見直しはどこを行いますか。
該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

- 1. 消防本部
- 2. 消防本部と実習先医療機関と協議し、実習内容の見直しを行う
- 3. 実習先医療機関
- 4. その他

ここをクリックして回答してください▽

※「4」を選んだ方は、具体的にご記入ください

4. その他の場合、具体的に

副問 6-10 副問6-7で「4. 見直しは行っていない」を選択した方にお聞きます。
日常的な教育体制での再教育項目内容を見直さない理由は何ですか。具体的にご記入ください。

(枠内に自由記載)

--

副問 6-11 問6で「2、3」のいずれかを選択した方にお聞きます。
日常的な教育体制での教育が行えない理由について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

- 1. 指導者の確保ができない
- 2. 再教育対象者が救急業務以外も兼務しており、兼務の業務に支障がでる
- 3. 通常業務（救急出場や市民指導等）が多忙のため
- 4. 適切な再教育項目を定めていない
- 5. 予算がない
- 6. その他

クリック▽

→副問 6-12へ

※「6」を選んだ方は、具体的にご記入ください

副問 6-12 副問 6-11で「1. 指導者の確保ができない」を選択した方にお聞きます。
 日常的な教育体制での教育を行える指導者の確保が出来ない理由について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 指導者となる医師がいない
2. 医療機関（医師）の協力が得られない
3. 医師に依頼するための予算がない
4. 指導救命士の養成コースに職員を派遣しているが、要件を満たせていない
5. 指導救命士の養成コースに職員を派遣したいが、派遣のための人員の余裕がない。
6. 指導救命士を養成するための予算がない
7. その他

クリック▼

※「7」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 6-13 問 6で「3、4」のいずれかを選択した方にお聞きます。
 救急救命士の再教育のための病院実習における課題等がある場合の対応について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 消防本部と医療機関で調整
2. 地域メディカルコントロール協議会で調整を依頼
3. 都道府県メディカルコントロール協議会で調整を依頼
4. 特になし
5. その他

クリック▼

※「5」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 6-14 貴消防本部で、時間や単位などの履行状況を記録（把握）している再教育の項目について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 把握していない
2. 病院実習
3. 症例検討会
4. 実践技能教育コース
（標準化されたガイドラインを用いたシミュレーション学習）
5. 集中講義（病態把握や応急処置能力向上等）
6. シナリオトレーニング
7. 各種研修会への参加
8. 救急出場時での実践的なトレーニング（同乗実習等）
9. 論文筆者
10. ドクターカー同乗実習
12. その他

クリック▼

→副問 6-15へ

※「12」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 6-15 **副問 6-14で「2～12」のいずれかを選択した方にお聞きます。**
救急救命士の資格を有する職員の再教育について時間や単位の履行状況を確認したのち、定めている時間や単位を満たさない者の対応についてお伺いします。該当するものを**すべて**選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 再教育体制に問題がないかを確認し、問題があれば改善する
2. 貴消防本部として、集合研修など再教育を行い補完する
3. 地域もしくは都道府県のメディカルコントロール協議会が集合研修などを行い再教育を補完する
4. 何も行わない
5. 時間や単位を定めていない
6. その他

クリック▼

※「6」を選んだ方は、具体的にご記入ください

副問 6-16 **副問 6-14で「2～12」のいずれかを選択した方にお聞きます。**
貴消防本部では、副問 6-14で回答いただいた記録（把握）している再教育の項目を地域メディカルコントロール協議会に報告していますか。該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 報告している
2. 報告していない

ここをクリックして回答してください▼

問 7 気管挿管認定救急救命士の再教育について、該当するものを**1つ**を選んでください。

(回答は1つ)

1. 消防本部で再教育について何らかの定めがある
 2. 地域又は都道府県のメディカルコントロール協議会で定めている
 3. 再教育についての定めはない
- } →副問 7-1ハ

ここをクリックして回答してください▼

副問 7-1 **問7で「1、2」のいずれかを選択した方にお聞きます。**
気管挿管認定救急救命士の再教育について、該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 気管挿管認定救急救命士の再教育を実施している →副問 7-2ハ
2. 気管挿管認定救急救命士の再教育を実施していない →副問 7-3ハ

ここをクリックして回答してください▼

副問 7-2 **副問 7-1で「1. 気管挿管認定救急救命士の再教育を実施している」を選択した方にお聞きます。**
気管挿管認定救急救命士の再教育実施方法について、該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 再教育病院実習中に生体で実施する
2. 再教育病院実習中に訓練人形による実技や講義で実施する
3. 再教育病院実習とは別に訓練人形による実技や講義で実施する
4. 再教育病院実習とは別に手術室内で再度生体に実施する
5. その他

ここをクリックして回答してください▼

※「5」を選んだ方は、具体的にご記入ください



5. その他の場合、具体的に

副問 7-3 **副問 7-1で「2. 気管挿管認定救急救命士の再教育を実施していない」を選択した方にお聞きます。**
気管挿管認定救急救命士の再教育について実施していない理由について、具体的にご記入ください。

(枠内に自由記載)

1. 事後検証の実施について

問1 事後検証の実施についてお聞きます。
貴消防本部での事後検証対象はどれにあてはまりますか。該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. 消防本部内、医師ともに事後検証は実施していない | →副問1-1、問2、問4へ |
| 2. 消防本部内でのみ事後検証を実施している | →副問1-1、問2、問3へ |
| 3. 医師でのみ事後検証を実施している | →副問1-1、問4、問5へ |
| 4. 消防本部と医師双方で事後検証を実施している | →副問1-1、問6、問7、問8へ |

ここをクリックして回答してください▽

※「2」「3」を選んだ方は、平成30年の救急搬送件数をご記入ください。



2. または3. の場合、救急搬送件数

0件

※「2」「3」を選んだ方は、平成30年の事後検証件数をご記入ください。



2. または3. の場合、事後検証件数

0件

※「4」を選んだ方は、平成30年の消防本部の救急搬送件数をご記入ください。



4. の場合、消防本部の救急搬送件数

0件

※「4」を選んだ方は、平成30年の消防本部の事後検証件数をご記入ください。



4. の場合、消防本部の事後検証件数

0件

※「4」を選んだ方は、平成30年の医療機関の事後検証件数をご記入ください。



4. の場合、医療機関の事後検証件数

0件

副問 1-1 事後検証を行う医師について、どのような人物がふさわしいかお聞きます。
該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 管轄内の救急医療の中核をなす医療機関
2. オンラインメディカルコントロールを担当する医師の代表
3. 管轄内の三次医療機関の医師
4. 管轄外の三次医療機関の医師
(自地域に三次医療機関はない)
5. 搬送先医療機関医師
6. 日本救急医学会指導医
7. 救急科専門医
8. 地域メディカルコントロール協議会の定める医師
9. その他

クリックマ

※「9」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

問 2

問 1 で「1. 事後検証は実施していない」または「2. 消防本部内でのみ事後検証を実施している」を選択した方にお聞きします。

医師による事後検証を実施していない理由についてお聞きします。該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

- 1. 事後検証に協力してくれる医師が管轄内にいない
- 2. 事後検証を行うにふさわしい医師が管轄内にいない
- 3. 事後検証を医師に依頼する予算がない
- 4. 事後検証を医師で行わなくとも救急活動に問題がない
- 5. その他

クリック▼

→副問 2 - 1 へ

→副問 2 - 2 へ

※「5」を選んだ方は、具体的にご記入ください

副問

2-1

問 2 で「1. 事後検証に協力してくれる医師が管轄内にいない」を選択した方にお聞きします。

事後検証に協力してくれる医師の確保について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

- 1. 都道府県メディカルコントロール協議会に確保の調整を依頼している
- 2. 地域メディカルコントロール協議会に確保の調整を依頼している
- 3. 消防本部として確保の調整を行っている
- 4. その他

クリック▼

※「4」を選んだ方は、具体的にご記入ください

副問

2-2

問 2 で「4. 事後検証を医師で行わなくとも救急活動に問題がない」を選択した方にお聞きします。

事後検証を医師が行わなくとも救急活動に問題がない理由について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

- 1. 過去に医師が検証を行ったが実際の救急活動に反映されなかったから
- 2. 過去に医師が検証を行ったがフィードバックがなかったから
- 3. 医師の検証が救急活動の質の向上に資することがないから
- 4. 医師の検証を行わなくとも救急活動は行え、必要ないから
- 5. 消防機関のみの検証で十分だから
- 6. その他

クリック▼

※「6」を選んだ方は、具体的にご記入ください

問 3

問 1 で「2. 消防本部内でのみ事後検証を実施している」を選択した方にお聞きします。

消防本部内での事後検証体制について、該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

- 1. まず出場した隊又は消防署が行い、その後、消防署又は本部で行う2階層 →副問 3 - 1 へ
- 2. まず出場した隊が行い、その後、消防署で行い、さらに本部で行う3階層 →副問 3 - 2 へ
- 3. 事後検証の体制は階層構造ではない } →副問 3 - 3 へ
- 4. その他

ここをクリックして回答してください▼

※「4」を選んだ方は、具体的にご記入ください



4. その他の場合、具体的に

副問 3-1 問3で「1. まず出場した隊又は消防署が行い、その後、消防署又は本部で行う2階層」を選択した方にお聞きします。
階層構造の事後検証を行う者について、「あ、出場した隊又は消防署」及び「い、消防署又は本部」に該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

	あ、出場した隊又は消防署	い、消防署又は本部
1. 救急隊長		
2. 救急救命士		
3. 指導救命士		
4. 救急業務に精通した職員		
5. 救急業務に精通した管理的立場の職員		
6. 管理的立場の職員		
7. 地域メディカルコントロール協議会の定める職員		
8. その他		

※「8」を選んだ方は、
具体的にご記入ください

--	--

副問 3-2 問3で「2. まず出場した隊が行い、その後、消防署で行い、さらに本部で行う3階層」を選択した方にお聞きします。
階層構造の事後検証を行う者について、「あ、出場した隊」、「い、消防署」、「う、消防本部」に該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

	あ、出場した隊	い、消防署	う、消防本部
1. 救急隊長			
2. 救急救命士			
3. 指導救命士			
4. 救急業務に精通した職員			
5. 救急業務に精通した管理的立場の職員			
6. 管理的立場の職員			
7. 地域メディカルコントロール協議会の定める職員			
8. その他			

※「8」を選んだ方は、
具体的にご記入ください

--	--	--

副問 3-3 問3で「3、4」のいずれかを選択した方にお聞きします。
消防本部内での事後検証を行う者について、該当するものをすべてを選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 救急隊長
2. 救急救命士
3. 指導救命士
4. 救急業務に精通した職員
5. 救急業務に精通した管理的立場の職員
6. 管理的立場の職員
7. 地域メディカルコントロール協議会の定める職員
8. その他

クリックマ

※「8」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 3-4 消防本部内での事後検証対象についてお聞きします。
該当するものを**すべて**選んでください。

(回答はいくつでも)

1. すべての救急出場事案
2. すべての救急搬送事案
3. すべての不搬送事案
4. 特定行為実施事案
5. 心肺機能停止状態事案
6. 重症外傷事案
7. 初診医により検証が必要と判断される事案
8. 救急隊長により検証が必要と判断された事案
9. 搬送困難事案
10. 消防本部の応援協定により出場した事案
11. 多数傷病者発生事案
12. ドクターヘリと連携した事案
13. ドクターカーと連携した事案
14. 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施に関わる事案
15. 通信指令員に対する口頭指導の事後検証
16. 初診時傷病程度が死亡の事案
17. 医師に指導・助言を求めた事案
18. 明らかな死亡と判断した事案
19. 特に定めていない
20. その他

クリックマ

<input type="checkbox"/>

※「20」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 3-5 事後検証の検証事項についてお聞きします。該当するものを**すべて**を選んでください。

(回答はいくつでも)

1. プロトコルとの整合性
2. 救急活動の迅速性
3. 救急活動の協調性
4. 他隊及び他機関との連携
5. 特定行為指示要請の内容
6. 医師に指導・助言を求めた内容
7. 救急活動の医学的整合性
8. 病態に応じた病院選定
9. 接遇
10. 記録の正確性
11. その他

クリックマ

<input type="checkbox"/>

※「11」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 3-6 消防本部内での事後検証対象事案の検証者送付時期についてお聞きします。
該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 定期的に送付している
2. 事案が一定量となったとき送付している
3. 事案発生時に直ちに送付している
4. 送付時期については特に定めていない

ここをクリックして回答してくださいマ

副問 3-7 消防本部内での事後検証結果の活用についてお聞きます。該当するものを**すべて**選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 事後検証結果の活用は行っていない
2. 事後検証結果から消防本部独自でプロトコルの見直しを図る
3. 事後検証結果を地域メディカルコントロール協議会に報告し、プロトコルの見直しを図る
4. 事後検証結果をフィードバックする
5. 事後検証結果から症例検討会等の場で消防本部内に周知する
6. 事後検証の結果を地域メディカルコントロール協議会へ報告する
7. その他

クリック▼
<input type="checkbox"/>

※「4」を選んだ方は、フィードバックに要する平均日数をご記入ください ⇒

4. の場合、平均日数
0日

※「7」を選んだ方は、具体的にご記入ください ⇒

7. その他の場合、具体的に

副問 3-8 消防本部内での事後検証結果の受け渡し方法についてお聞きます。該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 郵送又は手渡し
2. 電子ネットワークによる受け渡し
3. 郵送又は手渡しと電子ネットワークによる受け渡しの両方
4. その他

ここをクリックして回答してください▼

※「4」を選んだ方は、具体的にご記入ください ⇒

4. その他の場合、具体的に

副問 3-9 事後検証の様式についてお聞きます。該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 事後検証には客観的に救急活動が事後検証できる検証票※を使用している →副問 3-10へ
2. 事後検証には決まった様式を使用していない

ここをクリックして回答してください▼

※「客観的に救急活動が事後検証できる検証票」とは、例えば「現場滞在時間」や「傷病者接触後、CPR開始までの時間」、「傷病者接触後、AED装着までの時間」、「静脈路確保の指示受領後から、薬剤投与までの時間」などがわかる検証票等をいう

副問 3-10 副問 3-9 で「1. 事後検証には客観的に救急活動が事後検証できる検証票を使用している」を選択した方にお聞きます。検証票から読み取れる時間※などを指標として、検証していますか。該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 指標を設けて、検証している
2. 特に指標を設けず、検証している

ここをクリックして回答してください▼

※例えば「現場滞在時間」や「傷病者接触後、CPR開始までの時間」、「傷病者接触後、AED装着までの時間」、「静脈路確保の指示受領後から、薬剤投与までの時間」

問 4 問1で「1. 事後検証は実施していない」または「3. 医師のみ事後検証を実施している」を選択した方にお聞きます。消防本部内で事後検証を実施していない理由について、該当するものを**すべて**選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 消防本部内で事後検証すべき事例がない
2. 事後検証を消防本部内で行わなくとも救急活動に問題がない
3. 事後検証は医療機関で行うことで十分だから
4. 事後検証をできる職員がいない
5. 事後検証を行う予算がない
6. 他の業務も兼ね事後検証する余裕がない
7. 救急隊員（救急救命士含む）の再教育に時間をとられ事後検証ができない
8. その他

クリック▼
<input type="checkbox"/>

→副問 4-1 へ

→副問 4-2 へ

→副問 4-3 へ

※「8」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 4-1 問4で「1. 消防本部内で事後検証すべき事例がない」を選択した方にお聞きします。
消防本部内で事後検証すべき事例とは何であるか具体的に記入ください。

(枠内に自由記載)

副問 4-2 問4で「2. 事後検証を消防本部内で行わなくとも救急活動に問題がない」を選択した方にお聞きします。
事後検証を消防本部内で行わなくとも救急活動に問題がない理由についてお聞きします。
該当するものをすべて選んでください。

(回答はいつでも)

1. 過去に消防本部内で事後検証を行ったが救急活動に反映されなかったから
2. 過去に消防本部内で事後検証を行ったがフィードバックがなかったから
3. 消防本部内の事後検証が救急活動の質の向上に資することがないから
4. 消防本部内で事後検証を行わなくとも救急活動は行え、必要ないから
5. その他

クリック▼

※「5」を選んだ方は、具体的に記入ください

副問 4-3 問4で「4. 事後検証をできる職員がいない」を選択した方にお聞きします。
事後検証を行える職員について、どのような人物がふさわしいかお聞きします。
該当するものをすべて選んでください。

(回答はいつでも)

1. 救急隊長
2. 救急救命士
3. 指導救命士
4. 救急業務に精通した職員
5. 救急業務に精通した管理的立場の職員
6. 管理的立場の職員
7. 地域メディカルコントロール協議会の定める職員
8. その他

クリック▼

※「8」を選んだ方は、具体的に記入ください

問5 問1で「3. 医師でのみ事後検証を実施している」を選択した方にお聞きします。
医師の事後検証実施者について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいつでも)

1. どのような医師でもよい
2. 管轄内の中核をなす救急医療機関の医師
3. オンラインメディカルコントロールを担当する医師の代表
4. 管轄内の三次医療機関の医師
5. 管轄外の三次医療機関の医師
(管轄内に三次医療機関はない)
6. 搬送先医療機関医師
7. 日本救急医学会指導医
8. 救急科専門医
9. 地域メディカルコントロール協議会の定める医師
10. その他

クリック▼

※「10」を選んだ方は、具体的に記入ください

副問 5-1 医師の事後検証対象についてお聞きします。
該当するものを**すべて**選んでください。

(回答はいくつでも)

1. すべての救急出場事案
2. すべての救急搬送事案
3. すべての不搬送事案
4. 特定行為実施事案
5. 心肺機能停止状態事案
6. 重症外傷事案
7. 初診医により検証が必要と判断される事案
8. 救急隊長により検証が必要と判断された事案
9. 地域メディカルコントロール協議会で検証が必要と判断された事案
10. 搬送困難事案
11. 消防本部の応援協定により出場した事案
12. 多数傷病者発生事案
13. ドクターヘリと連携した事案
14. ドクターカーと連携した事案
15. 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施に関わる事案
16. 通信指令員に対する口頭指導の事後検証
17. 傷病者が死亡した事案
18. 医師に指導・助言を求めた事案
19. 明らかな死亡と判断した事案
20. 特に定めていない
21. その他

クリック▼

<input type="checkbox"/>

※「21」を選んだ方は、具体的にご記入ください

↓

副問 5-2 医師の事後検証の検証事項としてお聞きします。
該当するものを**すべて**選んでください。

(回答はいくつでも)

1. プロトコルとの整合性
2. 救急活動の迅速性
3. 救急活動の協調性
4. 他隊及び他機関との連携
5. 特定行為指示要請の内容
6. 医師に指導・助言を求めた内容
7. 救急活動の医学的整合性
8. 病態に応じた病院選定
9. 接遇
10. 記録の正確性
11. その他

クリック▼

<input type="checkbox"/>

※「11」を選んだ方は、具体的にご記入ください

↓

副問 5-3 医師の事後検証の消防本部からの対象事案送付時期についてお聞きします。
該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 定期的に医師に送付している
2. 事案が一定量となったとき送付している
3. 事案発生時に直ちに送付している
4. 送付時期については特に定めていない

ここをクリックして回答してください▼

副問 5-4 消防本部の医師への事後検証対象事案の送付方法についてお聞きします。
該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 郵送又は手渡し
2. 電子ネットワークによる受け渡し
3. 郵送又は手渡しと電子ネットワークによる受け渡しの両方
4. その他

ここをクリックして回答してください▼

※「4」を選んだ方は、具体的にご記入ください

4. その他の場合、具体的に

副問 5-5 医師の行った事後検証結果の活用についてお聞きします。該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 事後検証結果の活用は行っていない
2. 事後検証結果から消防本部独自でプロトコルの見直しを図る
3. 事後検証結果を地域メディカルコントロール協議会に報告し、プロトコルの見直しを図る
4. 事後検証結果をフィードバックする
5. 事後検証結果から症例検討会等の場で消防本部内に周知する
6. その他

クリック▽
<input type="checkbox"/>

※「4」を選んだ方は、フィードバックに要する平均日数をご記入ください ⇒

4. の場合、平均日数
0日

※「6」を選んだ方は、具体的にご記入ください ⇒

6. その他の場合、具体的に

副問 5-6 事後検証結果の受け取り方法についてお聞きします。該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

1. 郵送又は手渡し
2. 電子ネットワークによる受け渡し
3. 郵送又は手渡しと電子ネットワークによる受け渡しの両方
4. その他

ここをクリックして回答してください▽

※「4」を選んだ方は、具体的にご記入ください ⇒

4. その他の場合、具体的に

副問 5-7 事後検証の様式についてお聞きします。該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

1. 事後検証には客観的に救急活動が事後検証できる検証票※を使用している →副問5-8へ
2. 事後検証には決まった様式を使用していない

ここをクリックして回答してください▽

※「客観的に救急活動が事後検証できる検証票」とは、例えば「現場滞在時間」「傷病者接触後、CPR開始までの時間」、「傷病者接触後、AED装着までの時間」、「静脈路確保の指示受領後から、薬剤投与までの時間」などがわかる検証票等をいう

副問 5-8 副問5-7で「1. 事後検証には客観的に救急活動が事後検証できる検証票を使用している」を選択した方にお聞きします。検証票から読み取れる時間※などを指標として、検証していますか。該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

1. 指標を設けて、検証している
2. 特に指標を設けず、検証している

ここをクリックして回答してください▽

※例えば「現場滞在時間」や「傷病者接触後、CPR開始までの時間」、「傷病者接触後、AED装着までの時間」、「静脈路確保の指示受領後から、薬剤投与までの時間」

副問 5-9 貴消防本部での事後検証を行う医師の所属医療機関の数についてお聞きします。事後検証を行う医療機関の数をご記入ください。

(半角数字で回答)

医療機関の数	0機関
--------	-----

問6 問1で「4. 消防本部と医師双方で事後検証を実施している」を選択した方にお聞きします。消防本部内での事後検証体制について、該当するものを1つ選んでください。

(回答は1つ)

1. まず出場した隊又は消防署が行い、その後、消防署又は本部で行う2階層 →副問6-1へ
2. まず出場した隊が行い、その後、消防署で行い、さらに本部で行う3階層 →副問6-2へ
3. 事後検証の体制は階層構造ではない } →副問6-3へ
4. その他

ここをクリックして回答してください▽

※「4」を選んだ方は、具体的にご記入ください ⇒

4. その他の場合、具体的に

副問 6-1 問6で「1. まず出場した隊又は消防署が行い、その後、消防署又は本部で行う2階層」を選択した方にお聞きします。
階層構造の事後検証を行う者について、「あ、出場した隊又は消防署」及び「い、消防署又は本部」に該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

	あ、出場した隊又は消防署	い、消防署又は本部
1. 救急隊長		
2. 救急救命士		
3. 指導救命士		
4. 救急業務に精通した職員		
5. 救急業務に精通した管理的立場の職員		
6. 管理的立場の職員		
7. 地域メディカルコントロール協議会の定める職員		
8. その他		

※「8」を選んだ方は、
具体的に記入ください

--	--

副問 6-2 問6で「2. まず出場した隊が行い、その後、消防署で行い、さらに本部で行う3階層」を選択した方にお聞きします。
階層構造の事後検証を行う者について、「あ、出場した隊」、「い、消防署」、「う、消防本部」に該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

	あ、出場した隊	い、消防署	う、消防本部
1. 救急隊長			
2. 救急救命士			
3. 指導救命士			
4. 救急業務に精通した職員			
5. 救急業務に精通した管理的立場の職員			
6. 管理的立場の職員			
7. 地域メディカルコントロール協議会の定める職員			
8. その他			

※「8」を選んだ方は、
具体的に記入ください

--	--	--

副問 6-3 問6で「3、4」のいずれかを選択した方にお聞きします。
消防本部内での事後検証を行う者について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 救急隊長
2. 救急救命士
3. 指導救命士
4. 救急業務に精通した職員
5. 救急業務に精通した管理的立場の職員
6. 管理的立場の職員
7. 地域メディカルコントロール協議会の定める職員
8. その他

クリックマ

※「8」を選んだ方は、具体的に記入ください

--

副問
6-4 消防本部内での事後検証対象についてお聞きします。
該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. すべての救急出場事案
2. すべての救急搬送事案
3. すべての不搬送事案
4. 特定行為実施事案
5. 心肺機能停止状態事案
6. 重症外傷事案
7. 初診医により検証が必要と判断される事案
8. 救急隊長により検証が必要と判断された事案
9. 搬送困難事案
10. 消防本部の応援協定により出場した事案
11. 多数傷病者発生事案
12. ドクターヘリと連携した事案
13. ドクターカーと連携した事案
14. 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施に関わる事案
15. 通信指令員に対する口頭指導の事後検証
16. 初診時傷病程度が死亡の事案
17. 医師に指導・助言を求めた事案
18. 明らかな死亡と判断した事案
19. 特に定めていない
20. その他

クリックマ

<input type="checkbox"/>

※「20」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問
6-5 事後検証の検証事項についてお聞きします。該当するものをすべてを選んでください。

(回答はいくつでも)

1. プロトコルとの整合性
2. 救急活動の迅速性
3. 救急活動の協調性
4. 他隊及び他機関との連携
5. 特定行為指示要請の内容
6. 医師に指導・助言を求めた内容
7. 救急活動の医学的整合性
8. 病態に応じた病院選定
9. 接遇
10. 記録の正確性
11. その他

クリックマ

<input type="checkbox"/>

※「11」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

問7

問1で「4. 消防本部と医師双方で事後検証を実施している」を選択した方にお聞きます。
医師の事後検証を行う者について、該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. どのような医師でもよい
2. 管轄内の救急医療の中核をなす医療機関の医師
3. オンラインメディカルコントロールを担当する医師の代表
4. 管轄内の三次医療機関の医師
5. 管轄外の三次医療機関の医師
(管轄内に三次医療機関はない)
6. 搬送先医療機関医師
7. 日本救急医学会指導医
8. 救急科専門医
9. 地域メディカルコントロール協議会の定める医師
10. その他

クリックマ

<input type="checkbox"/>

※「10」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問
7-1

医師による事後検証対象についてお聞きます。
該当するものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. すべての救急出場事案
2. すべての救急搬送事案
3. すべての不搬送事案
4. 特定行為実施事案
5. 心肺機能停止状態事案
6. 重症外傷事案
7. 初診医により検証が必要と判断される事案
8. 救急隊長により検証が必要と判断された事案
9. 地域メディカルコントロール協議会で検証が必要と判断された事案
10. 搬送困難事案
11. 消防本部の応援協定により出場した事案
12. 多数傷病者発生事案
13. ドクターヘリと連携した事案
14. ドクターカーと連携した事案
15. 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施に関わる事案
16. 通信指令員に対する口頭指導の事後検証
17. 傷病者が死亡した事案
18. 医師に指導・助言を求めた事案
19. 明らかな死亡と判断した事案
20. 特に定めていない
21. その他

クリックマ

<input type="checkbox"/>

※「21」を選んだ方は、具体的にご記入ください

--

副問 7-2 医師の事後検証の検証事項としてのことについてお聞きします。
該当するものを**すべて**選んでください。

(回答はいくつでも)

1. プロトコルとの整合性
2. 救急活動の迅速性
3. 救急活動の協調性
4. 他隊及び他機関との連携
5. 特定行為指示要請の内容
6. 医師に指導・助言を求めた内容
7. 救急活動の医学的整合性
8. 病態に応じた病院選定
9. 接遇
10. その他

クリック▼

※「10」を選んだ方は、具体的にご記入ください

副問 7-3 貴消防本部での事後検証を行う医師の所属医療機関の数についてお聞きします。
事後検証を行う医療機関の数をご記入ください。

(半角数字で回答)

医療機関の数	0機関
--------	-----

問 8 **問1で「4. 消防本部と医師双方で事後検証を実施している」を選択した方にお聞きします。**
事後検証の様式について、該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 事後検証には客観的に救急活動が事後検証できる検証票※を使用している →副問 8-1へ
2. 事後検証には決まった様式を使用していない -----> →副問 8-2へ

ここをクリックして回答してください▼

※「客観的に救急活動が事後検証できる検証票」とは、例えば「現場滞在時間」や「傷病者接触後、CPR開始までの時間」、「傷病者接触後、AED装着までの時間」、「静脈路確保の指示受領後から、薬剤投与までの時間」などがわかる検証票等をいう

副問 8-1 **問8で「1. 事後検証には客観的に救急活動が事後検証できる検証票を使用している」を選択した方にお聞きします。**
検証票から読み取れる時間※などを指標として、検証していますか。
消防本部、医師それぞれについて、該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 指標を設けて、検証している
2. 特に指標を設けず、検証している

消防本部による検証

ここをクリックして回答してください▼

医師による検証

ここをクリックして回答してください▼

※例えば「現場滞在時間」や「傷病者接触後、CPR開始までの時間」、「傷病者接触後、AED装着までの時間」、「静脈路確保の指示受領後から、薬剤投与までの時間」

副問 8-2 消防本部内での事後検証対象事案の検証者送付時期についてお聞きします。
該当するものを**1つ**選んでください。

(回答は1つ)

1. 定期的に送付している
2. 事案が一定量となったとき送付している
3. 事案発生時に直ちに送付している
4. 送付時期については特に定めていない

ここをクリックして回答してください▼

副問 8-3 消防本部内での事後検証対象事案の送付方法についてお聞きます。
該当するものを 1つ 選んでください。

(回答は1つ)

1. 郵送又は手渡し
2. 電子ネットワークによる受け渡し
3. 郵送又は手渡しと電子ネットワークによる受け渡しの両方
4. その他

ここをクリックして回答してください▽

4. その他の場合、具体的に

※「4」を選んだ方は、具体的に記入ください ⇒

副問 8-4 消防本部からの医師の事後検証の対象事案送付時期についてお聞きます。
該当するものを 1つ 選んでください。

(回答は1つ)

1. 定期的に医師に送付している
2. 事案が一定量となったとき送付している
3. 事案発生時に直ちに送付している
4. 送付時期については特に定めていない

ここをクリックして回答してください▽

副問 8-5 消防本部からの医師への事後検証対象事案の送付方法についてお聞きます。
該当するものを 1つ 選んでください。

(回答は1つ)

1. 郵送又は手渡し
2. 電子ネットワークによる受け渡し
3. 郵送又は手渡しと電子ネットワークによる受け渡しの両方
4. その他

ここをクリックして回答してください▽

4. その他の場合、具体的に

※「4」を選んだ方は、具体的に記入ください ⇒

副問 8-6 事後検証結果の活用についてお聞きます。
該当するものを すべて 選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 事後検証結果の活用は行っていない
2. 事後検証結果から消防本部独自でプロトコルの見直しを図る
3. 事後検証結果を地域メディカルコントロール協議会に報告し、プロトコルの見直しを図る
4. 事後検証結果をフィードバックする
5. 事後検証結果から症例検討会等の場で消防本部内に周知する
6. 事後検証の結果を地域メディカルコントロール協議会へ報告する
7. その他

クリックマ

<input type="checkbox"/>

※「4」を選んだ方は、フィードバックに要する平均日数をご記入ください ⇒

4. の場合、平均日数

0日

※「7」を選んだ方は、具体的に記入ください ⇒

7. その他の場合、具体的に

副問
8-7 事後検証結果の受け渡し方法についてお聞きます。
該当するものを **1つ** 選んでください。

(回答は1つ)

1. 郵送又は手渡し
2. 電子ネットワークによる受け渡し
3. 郵送又は手渡しと電子ネットワークによる受け渡しの両方
4. その他

ここをクリックして回答してください▽

※「4」を選んだ方は、具体的に記入ください



4. その他の場合、具体的に

アンケートは以上になります。
今後の運営に活用させていただきます。ご協力、誠にありがとうございました。